

京都府感染症情報センターからの最新情報

(2024 年第 50 週 : 令和 6 年 12 月 9 日～令和 6 年 12 月 15 日) No. 650

京都小児重症患者診療情報システム管理部 長村敏生

今週のコメント : 2024 年第 50 週の報告です。

インフルエンザがますます増加、定点当りの報告数が全国は 19.06・京都府は 15.34 と流行発生注意報の基準値を超えました。京都府内の保健所別では京都市南区が 32.17、中丹西が 32.00 にまで増加し警報レベルになりました。そのほかの保健所でも定点当り報告数が注意報基準値を超えたところが多く出ました。山城北の**咽頭結膜熱**・京都市右京区の**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は今週も警報レベルです。眼科定点は**流行性角結膜炎**が 11 件、基幹定点は**マイコプラズマ肺炎**が 18 件と**クラミジア肺炎**が 1 件の報告がありました。

全数報告対象の疾患では 2 類の**結核**が 7 件、4 類の**レジオネラ症**が 3 件、5 類は**アメーバ赤痢**・**急性脳炎**・**後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)**と**梅毒**がそれぞれ 1 件、**侵襲性肺炎球菌感染症**が 3 件、**百日咳**が 6 件の報告がありました。

インフルエンザが注意報レベルとなりました。飛沫感染対策につとめ、咳やくしゃみが出る場合はマスクを含めた咳エチケットをお願いします。室内は適度な湿度を保ちつつこまめに換気をしましょう。体調不良を自覚した場合は人ごみへの不要不急の外出は避け、学校や職場への登校・出勤も可能な範囲で控えましょう。年末にかけて更なる感染拡大が想定されます。ワクチン接種を予定している方は早めに打ちましょう。65 歳以上の方などは定期接種の対象となっています。

また 2 歳以上 19 歳未満の方には、今シーズンより新たに経鼻ワクチンの接種が開始されています。このワクチンは、弱毒化したインフルエンザウイルスを鼻粘膜に噴霧することで、インフルエンザに対する免疫を獲得することが期待されています。経鼻ワクチンは針を使用しないため、接種時の痛みを軽減できる点が特徴です。ただし、持病のある方など、一部の方には従来の不活化ワクチン（皮下注射）が推奨される場合がありますので、かかりつけの小児科等でご相談ください。

経鼻弱毒生インフルエンザワクチンについて

https://www.info.pmda.go.jp/downfiles/ph/GUI/430574_631370AR1026_1_00G.pdf

(出典：独立行政法人医療品医療機器総合機構ホームページ)

京都府感染症情報センターホームページのアドレス：<http://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

注意：上記の下線部分の内容をご覧になりたい方は、パソコンの「Ctrl ボタン」を押しながら[青文字下線部分](#)をクリックしていただきますと、閲覧することができます。

最新の府内の発生状況（2024年第50週）

全数把握疾患

分類	報告
1類感染症	報告がありません
2類感染症	結核が7件報告されました
3類感染症	報告がありません
4類感染症	レジオネラ症が3件報告されました
5類感染症	アメーバ赤痢・急性脳炎・後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）と梅毒が各1件、侵襲性肺炎球菌感染症が3件、百日咳が6件報告されました

[全数報告一覧へ](#)

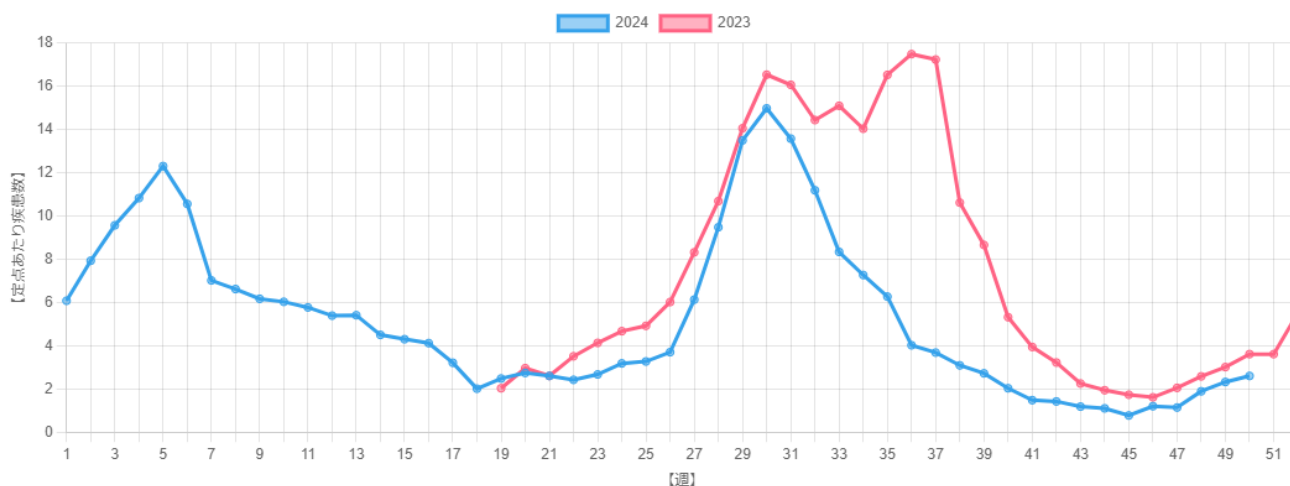
基幹定点 マイコプラズマ肺炎が18件、クラミジア肺炎が報告されました

眼科定点 流行性角結膜炎が11件報告されました

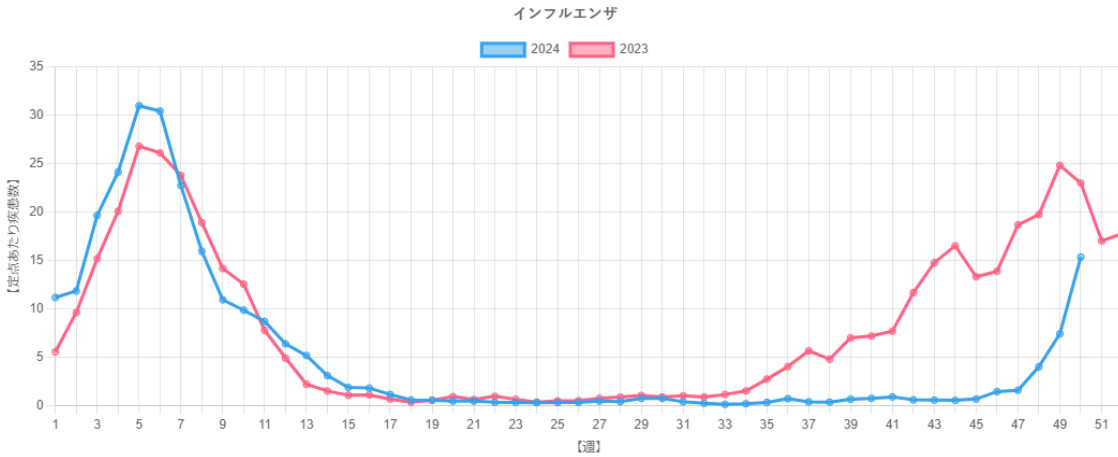
定点把握疾患

疾患名	定点当たり報告数	前週比	注意報・警報
インフルエンザ	15.34	↑	注意報
COVID-19	2.6	↑	
R S ウイルス感染症	0.16	↓	
咽頭結膜熱	0.49	↓	
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.09	↓	
感染性胃腸炎	3.78	↑	
水痘	0.14	↑	
手足口病	0.79	↓	
伝染性紅斑	0.45	↓	
突発性発しん	0.21	↑	
ヘルパンギーナ	0.01	↓	
流行性耳下腺炎	0.05	↑	
急性出血性結膜炎	0	→	
流行性角結膜炎	0.61	↑	

COVID-19



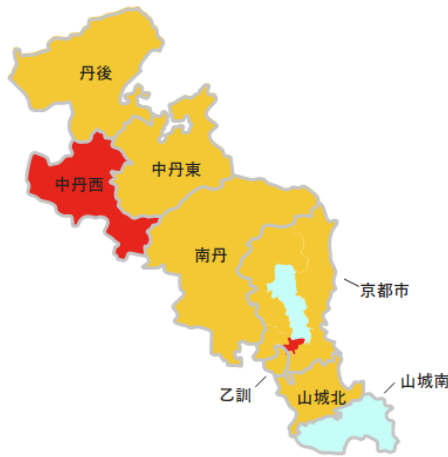
気温と湿度の低下に伴い、インフルエンザがいよいよ増加してきました。



インフルエンザ：京都府は流行発生注意報の基準値を超えました。

京都府内では京都市南区、中丹西が警報レベルになりました。

京都府全域



	罹患数	定点当たり
乙訓	116	16.57
山城北	222	13.06
山城南	41	6.83
南丹	95	10.56
中丹西	160	32
中丹東	126	18
丹後	100	16.67

京都市域



	罹患数	定点当たり
北	46	6.57
上京	41	8.2
左京	115	16.43
中京	43	8.6
東山	29	9.67
山科	188	26.86
下京	5	2.5
南	193	32.17
右京	120	15
伏見	168	16.8
西京	109	13.63

- 発生なし
- 発生
- 注意報
- 警報

基幹定点からのマイコプラズマ肺炎の報告件数の推移

2024年第42週:令和6年10月14日～令和6年10月20日: **28件**

2024年第43週:令和6年10月21日～令和6年10月27日: **29件**

2024年第44週:令和6年10月28日～令和6年11月3日: **21件**

2024年第45週:令和6年11月4日～令和6年11月10日: **30件**

2024年第46週:令和6年11月11日～令和6年11月17日: **33件**

2024年第47週:令和6年11月18日～令和6年11月24日: **22件**

2024年第48週:令和6年11月25日～令和6年12月1日: **16件**

2024年第49週:令和6年12月2日～令和6年12月8日: **15件**

2024年第50週:令和6年12月9日～令和6年12月15日: **18件**

⇒ 流行が長期化したマイコプラズマ肺炎はようやく減少傾向です。



咽頭結膜熱：山城北で警報レベルです。

疾患名

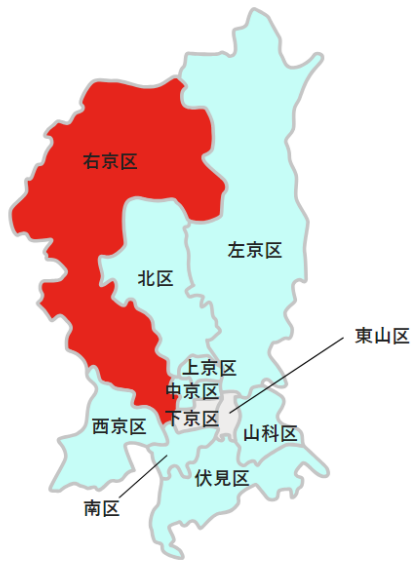
京都府全域



	罹患数	定点当たり
乙訓	4	1
山城北	23	2.3
山城南	2	0.5
南丹	-	-
中丹西	-	-
中丹東	2	0.5
丹後	-	-

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎：京都市右京区で警報レベルです。

京都市域



	罹患数	定点当たり
北	1	0.25
上京	6	2
左京	6	1.5
中京	2	0.67
東山	-	-
山科	4	0.8
下京	-	-
南	7	1.75
右京	46	9.2
伏見	8	1.33
西京	22	4.4



疾患名

京都府全域



	罹患数	定点当たり
乙訓	12	3
山城北	24	2.4
山城南	2	0.5
南丹	6	1.2
中丹西	6	2
中丹東	5	1.25
丹後	2	0.5

